



第5学年 社会科学学習指導案

T1 教 諭:〇〇 〇〇
T2 栄養教諭:〇〇 〇〇

- 単元名: これからの食料生産とわたしたち
- 単元の目標

◎わが国の農業や水産業における食料生産について、食料自給率や輸入など外国とのかかわり、食の安心・安全などの取り組みに着目して、地図帳や地球儀、各種の資料で調べ、食の安心・安全や持続的な確保が重要な課題であることや、自給率を上げることが大切であることを理解できるようにする。

○主体的に問題を追究・解決しようとする態度や、学習したことをもとに、これからの農業などの発展について考えようとする態度を養う。

3 単元の指導計画(全4時間)

	○おもな学習活動 ・予想する子どもの反応	◇指導の手立てや留意点 ●資料
つかむ・1時間	○農業や水産業の学習を振り返って、どのような課題を抱えていたか話し合う。 ・米の消費量が減って生産量を減らした。 ・水産資源が減少していたり魚の輸入が増えている。 ・農業も水産業も働く人が減少し高齢化している。 学習問題 日本の食料生産の課題を改善したり解決したりするには、どのようなことが大切になるのだろうか。	●グラフ: わが国の米の消費量・生産量の推移 ◇2025年の米価の値上がりを取り上げてもよい。 ●グラフ: 農業や水産業従事者の高齢化や就労人口の推移
調べる・2時間	○予想を出し合って調べることを決めていく。 ・国産の消費量を増やして生産量を上げていく? ・海外に輸出できるようにすれば発展する? ・若い人が農業や水産業に参加できるように? ○給食のメニューを見て話し合う。 ・じゃがいも、牛肉、油など ・自給率が低いものがある。 ・多くの食材で自給率が下がっている。 ○自給率を上げるにはどうしたらよいか考える。 ・米など国産のものを選んで食べるようにする。 ・和食の文化や郷土料理を大切にしていく。 ○日本の食材が海外で人気があることを知る。 ・品質のよさや安全性が評価されているんだね。 ・ブランド化も成功している。 ○日本の農業が発展していく方法を話し合う。 ・和食が健康によいことをもっと宣伝していく。 ・機械化を進めて働きやすい環境をつくる。	◇「どうすれば改善したり解決したりするか」について課題ごとに予想を出し合うようにする。 ◇一日のメニューを取り出して食材ごとに自給率を示す。 ●給食の写真 ●グラフ: 自給率の推移 ◇和食と洋食のメニューをくらべて自分たちの食生活の変化に気づかせる。 ●グラフ: 日本の食材の輸出量の推移
まとめ・1時間	○調べたことをもとに就業人口の減少や高齢化の改善や解決について自分の意見をまとめる。 ・消費量を増やしたりブランド化して生産量を増やせば収入が増えて若い人も増えると思う。 ・研修や会社運営などで参加しやすければ。 ・スマート農業などで便利になれば高齢者の作業負担も減るのではないかな。 ・わたしたち消費者に協力できることは安全や健康、環境への意識を高めて国産品を買うこと。	◇収入不安定、危険性などの要因も示して働く人の視点ももたせるようにする。 ●農業会社やNPOの資料 ◇スマート農業には費用がかかることなども示し、安直な結論に導くことのないよう留意する。 ●フードマイレージの資料

4 本時の目標

給食のメニューをもとに、わが国の食料自給率の低下について調べ、その要因として食生活の変化や食料生産の課題があることを知り、改善策や解決策を考えるようにする。

5 本時の展開(2/4時)

	○おもな学習活動 ・予想する子どもの反応	◇指導の手立てや留意点 ●資料
つかむ	○人気の給食の献立について話し合う。 ・カレー、スパゲティ、ハンバーグ ○ある日の給食の写真を見て話し合う。 ・好きなメニューだ。 ・ハンバーグやポテトもある。	◇栄養教諭が給食の献立を説明する。 ●給食だより(予定表) ●給食の写真
調べる	日本食料自給率について調べて課題を見つけ改善策や解決策を考えよう。	
調べる	○写真の給食について食材ごとに自給率を確かめる。 ・自給率が低いものが多い。 ○それぞれの食材の自給率の推移について調べる。 ・多くの食材で自給率が下がっている。 ・油が低い。牛肉も半分以下だ。じゃがいもも輸入が多かったのか。 ○自給率が低いとどのような課題があるのかを話し合う。 ・輸入できない状況(紛争や環境問題など)があったら入ってこなくなる。 ・世界の人口が増えていづれ食料不足になるのではないかな。 ・農業や水産業で働く人が少なくなると必要な時に急に増やすことはできないのではないかな	●『給食ニュース』2026年7月8日号 ●グラフ: 自給率の推移 ◇他の食材の自給率を加えて示したり他国(欧米)の自給率と比較したりしてもよい。 ◇世界各地で紛争が起こっていることやコロナ過では輸出入が停滞したことなどに触れるとよい。 ◇既習事項をもとに農業や水産業には経験や技術が必要なことを思い出させるようにする。
まとめ	○自給率低下の背景には国民の食生活の変化があることを知って自給率を上げるにはどうしたらよいか考える。 ・米など国産のものを選んで食べるようにすればよいのではないかな。 ・和食の文化を大切にしていく必要がある。 ・郷土料理をもっと知っていくべき。 ○わが国の食品ロスのデータから輸入を増やさないという方法もあることを知ってあらためて自分でできそうなことを考え表現する。 ・自分の食生活を見直して無駄なことをしないようにしたい。 ・和食のよさをもっと調べて家族で共有していくことが大切だと思う。	◇和食と洋食のメニューをくらべて自分たちの食生活の変化に気づかせる。 ◇「人ごと」や無責任な意見にならないように「具体的には?」などと問い返すとよい。 ●食品ロスの資料 ◇評価: 「自給率低下に対する改善策や解決策についての適切な方法を自分のこれからの生活と関係づけて考え、表現している」 【思考・判断・表現】